

開催! 平成27年度春季拡大研修会 定時総会

平成 27 年度春季拡大研修会を終えて

岐阜大学医学部附属病院 帖佐 光洋

平成 27 年 6 月 14 日(日)、ふれあい福寿会館 3 階中会議室にて、岐阜地区担当で平成 27 年度春季拡大研修会が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、多くの会員、賛助会員、市民の方々のご来場をいただき、本当にありがとうございました。

研修会では、臨床検査総合部門では、日本臨床衛生検査技師会の宮島喜文会長に今後の臨床検査技師の業務拡大や展望を丁寧にご説明いただきました。また臨床生理部門では岐阜大学の伊藤昌代先生に味覚の検査について詳しく説明いただきました。ランチョンセミナーは、シスメックス株式会社と日本光電株式会社にご協力いただきました。

市民公開講座においては、「パステルなめらかプリン」の生みの親、所浩史氏の人生論を興味深くユーモアたっぷりに語っていただき、パティシエ修行のエピソード、様々な人との出会い、すべて所氏の成功に生かされているのだと伝わってきます。参加して下さった皆様が共感できる成功した人生の一つのモデルが聴けたのではないかと思います。

会場は、市民の方 100 名を超え、会員の方を合わせ超満員となり、大盛況で終えることができました。

実行委員の皆様、技師会役員の皆様のご協力を得て、無事に終えたことを心より感謝申し上げます。

また前日には宮島会長と夜遅くまで接する機会もあり、色々な経験をさせていただきました。最後に地方会にもかわらず、多くの広告協賛企業(15 社)ランチョンセミナーの開催など、多くの賛助会員のご協力で所プリンを市民、会員の皆様へプレゼントできたことを重ねてお礼申し上げます。

特別講演 市民公開講座

『現代を生き抜く上で必要な発想力と人間力』

講師：所 浩史氏

(パステルなめらかプリンの開発者)



会場入り口風景



『検査説明等新たな取組の先にあるもの、それは?』
講師：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文 先生



＜ 臨床検査総合部門 研修会 ＞
宮島会長の熱い思いが伝わってくる講演でした

春季拡大研修会に参加して

岐阜大学医学部附属病院 松野 寛子

今研修会のメインテーマは“臨床検査の方向性”であり、いくつかの講演を通して検査技師としての未来だけでなく、自分自身の未来も考えさせられました。

講演においては、まず普段聞くことのできない宮島会長のお話を聞くことができ、検査説明における我々の役割について再確認するとともに、その後の展望についても考えることができる貴重な機会となりました。

また耳鼻科領域のお話を聞く機会にも恵まれ、大変勉強になりました。自らが携わっている領域のより詳しい話が聞くことができたので、さらに研鑽を積み、普段の仕事に生かしていきたいと思います。

最後の特別講演の所浩史氏の講演では、“出会いを大切にする”という言葉が印象的でした。我々においても、多くの出会いを大切にするすることで、自分自身の成長につなげていきたいです。

今回、スタッフとして参加させて頂いたことで、他院の同職種の方々と情報交換をすることができました。講演以外の場面でも多くの知識を得ることができた、大変有意義な時間であったと感じています。ありがとうございました。



兼子会長あいさつ



受付スタッフの皆さん



『味覚・嗅覚について』
講師:岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科
頭頸部外科 伊藤 昌代先生



★★★定時総会★★★

当日は、功労者表彰式もありました。
受賞された皆様
おめでとうございます♪



★ 功労者表彰 ★
遠藤 友啓 技師
横山 裕子 技師
池井戸 重廣 技師



★ 永年職務精励者表彰 ★
永年職務精励者は 164 名の該当者がおられます。
代表として石郷 潮美技師に受け取っていただきました



一般市民の方の参加者は 110 人で大盛況でした



★★★功労者表彰式★★★



平成27年度 検査説明・相談のできる臨床検査技師 育成講習会

講習会を終えて

岐阜中央病院

森 さゆり

梅雨時の曇り空の下、6月20日・21日の2日間、岐阜大学医学部附属病院の多目的ホールにて、受講生30名の参加をいただいて講習会を開催しました。

今回の開催は2回目で、昨年受講された皆さんの要望に答えるため、開催直前まで日臨技との調整を行いました。講習会直前に改訂されたという日臨技 宮島会長による「臨床検査技師が検査説明・相談に取り組む意義」のビデオは全国で初の放映となり、この取り組みへの思いが熱く伝わったと思います。その後には、前期チーム医療推進検討委員会委員長の奥田勲先生より、なぜ今「検査説明・相談」に取り組まなくてはいけないのか、2025年に向け医療の仕組みが変化する中で、社会の望む「臨床検査」の将来についてお話いただきました。

岐阜大学医学部附属病院 看護副部長 三輪峰子先生には患者心理を理論的に講演頂きました。病気になったとき、患者さんの心は時間と共に変化していくようです。不安のための起こす行動も冷静に聞くことが出来れば、良い検査説明に繋がるのではないかと思います。午後からは、日本サービスマナー協会認定講師 宇野悦加先生の「接遇の基礎」。姿勢から挨拶、言葉かけまでをグループで実践です。患者さんに会う時の良い第一印象は聞き手の心を安心させます。さらに、ジョンソン&ジョンソンの吉田和憲先生の「コーチング」。患者さんに生活習慣病の検査結果を説明する機会には、是非使って欲しい手法でした。

2日目は岐阜大学大学院医学系研究科 伊藤弘康先生の「検査説明の実際」。研修医の患者説明学習ビデオを使って患者さんへの説明手順を丁寧に説明していただきました。その後は、岐阜大学大学院医学系研究科 白上洋平先生の「R-CPC」。実症例の検査結果を短時間で読み、病気を予測していくため、参加者全員がテキストを見つめ、緊張感が漂っていました。午後からは、2日間の総まとめ「模擬演習」と「検査説明実例」です。受講生が患者と説明役になって全員の前で検査結果を説明しました。患者さんに配慮しながら、正確かつ分かりやすく伝える難しさを全員で共有しました。そして、最後の講演 岡崎市民病院 夏目久美子先生の検査説明実例の報告では、チーム医療としての身近な活動の実際を見せていただきました。

受講生の皆さん、2日間本当にお疲れ様でした。施設に帰って役立つものがあったでしょうか？

まだ受講していない皆さん、来年は日臨技企画最後の年になります。開催日時は決まり次第にお知らせします。是非、参加の検討をしてください。

これからの医療に求められる「パラダイムシフト」は医療者中心から利用者（患者）中心になること。その中で臨床検査技師に求められるものが、従来の「専門性」だけでなく協調性・総合力を備えた「多能性」も必要となるそうです。

今は将来に繋がっています。メディカルスタッフとしてチームで患者さんを診る時代はもうすぐそこに来ています。



宇野悦加先生



伊藤弘康先生



奥田勲先生

受講者の感想

土岐市立総合病院検査部 上村 まどか

本講習会に参加して、「説明をする」ということの難しさを感じました。実際に患者役や技師役になり模擬検査や検査説明を行いました。検査説明の事でいっぱいになり、患者様の不安な様子までに気を配ることができなかつたり、患者様をリラックスさせる事に夢中になり肝心な検査説明がおろそかになったり、後でこうすれば良かったと反省ばかりでした。諸先輩方の演習を拝見させていただきましたが、自分の力の無さを実感するばかりです。ただ、この講習に参加したことによって、これからの臨床検査技師像を考えるチャンスを得たと思っています。今では、ICT・NST・糖尿病・心リハなど他職種との連携も多くなりましたが、活動がなかなかできていないのが現状です。臨床検査技師が十分に活躍できる場を常に考えていくための第一歩としていきたいです。

大垣市民病院 奥田 文江

土・日曜日の2日間にわたり、ビデオ講演・事例紹介・模擬演習などで、検査説明・相談を行う意義や重要性・知識・技術はもちろんのこと患者心理・接遇・コミュニケーションなどの大切さも学びました。受講生同士での意見交換や模擬体験などもあり技術習得に効果的な講習会でした。

2日目の午後には、受講の成果を確認するべく模擬演習があり、模擬患者を体験しました。技師役さんのハキハキとした話し方は気持ちよく、安心して聞くことが出来ました。また、分かり易い言葉での説明や、ちょっとした言葉かけにより思いやりを感じました。改めて患者さんと接することの難しさ、コミュニケーションの大切さを実感しました。

厚労省や医師会の支援を受けた講習会の開催に至るまでの宮島会長のご尽力に応えるのはもちろんのこと、10年・20年後の後輩達の明るい未来のため、チーム医療参画の質的向上を目標にお互いに切磋琢磨し合って頑張りましょう。



近日の部門別研修会案内

日 時 : 平成 27 年 8 月 1 日 (土) 14:00 ~ 16:00

場 所 : 大垣市民病院 1 病棟 3 階 会議室

内 容 : 認定血液検査技師試験を受験しよう

「認定血液検査技師制度について」

講師: 岐阜市民病院 横山 裕子 技師

「第 13 回認定血液検査技師試験を受験して ①」

講師: 大垣市民病院 加納 彩野 技師

「第 13 回認定血液検査技師試験を受験して ②」

講師: 大垣市民病院 杉山 直久 技師

駐車場 : 病院駐車場をご利用下さい。駐車券を会場までお持ち下さい。

参加費 : 岐臨技会員は無料です。

県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円

連絡先 : 大垣市民病院 診療検査科 杉山 直久 (210179) [TEL 0584-81-3341](tel:0584-81-3341)

臨床
血液
部門

日 時 : 平成 27 年 8 月 9 日 (日) 13:30 ~ 16:30

場 所 : 岐阜市民病院 西 5 階 中会議室

内 容 : 「基礎から学ぼう 一般検査」

13:30~14:30 知っているようで知らない顕微鏡の使い方

講師: ニコン株式会社

14:30~15:00 尿定性の基礎

講師: 岡崎市医師会公衆衛生センター 畔柳 里美先生

15:00~16:00 尿沈渣における赤血球形態の見方、考え方

講師: 東京女子医科大学病院 横山 貴先生

駐車場 : 岐阜市民病院の一般用駐車場をご利用いただき、駐車券を会場まで お持ち下さい。

無料駐車券と引き換えいたします。

参加費 : 岐臨技会員は無料です。

県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円

連絡先 : 岐阜赤十字病院 検査部 林 晃司 [TEL 058-231-2266](tel:058-231-2266) (5154)

E-mail: gifu_rinshouippan@yahoo.co.jp

臨床
一般
部門

日 時 : 平成 27 年 9 月 5 日 (土) 9:00 ~ 12:00

場 所 : 土岐市立総合病院 核医学棟 3 階 大会議室

① 「悪性リンパ腫細胞の基本的な考え方」

講師: 豊橋市民病院 中央臨床検査室 内田 一豊 先生

② 「症例鏡検」、「症例検討会」

※各施設の持ち寄り症例の検討会を行います。

経験の浅い方にとっても大変興味ある学習になりますのでぜひご参加下さい。

駐車場 : 院内患者様用駐車場 (無料) をご利用下さい。

参加費 : 岐臨技会員は無料です。

県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円

連絡先 : 土岐市立総合病院 検査部 山本 将毅 (214357) [TEL 0572-55-2111](tel:0572-55-2111)

臨床
血液
部門

日 時 : 平成 26 年 8 月 9 日 (日) 14:00 ~ 17:00
場 所 : 岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科棟 (1 号館) 4 階 MT1 実習室
内 容 : 1. 「簡単な顕微鏡の調整とメンテナンス」
「顕微鏡カメラの撮影方法のコツ」
講師: オリンパス株式会社 山内栄佳 先生
オリンパスメディカルサイエンス販売株式会社 吉川 昇孝 先生
2. 「認定病理検査技師 認定試験について」
講師: 大垣市民病院 浅野 敦 先生
岐阜市民病院 松山昌史 先生
3. 「細胞診症例検討会」
症例を検鏡後、解説を行います
駐車場 : 岐阜医療科学大学の駐車場をご利用下さい。
(正門の工事が予定されていますので、東門より入校して下さい)
参加費 : 岐臨技会員は無料です。
県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円
連絡先 : 東海中央病院 臨床検査科 日高 祐二(214327) TEL 058-382-3101

病理
細胞診
部門

日 時 : 平成 27 年 9 月 5 日 (土) 14:00 ~ 16:30
場 所 : 大垣市民病院 1 病棟 3 階会議室
内 容 : 「脳波判読の進め方」
講師: 大垣市民病院 中島直美先生
「みんなで脳波を判読しよう!」
講師: 大垣市民病院 石郷景子先生
今回の研修会では実際の脳波の波形を読みながら進めていきます。
各自、脳波スケールを持参してください。研修会終了後、懇親会を行う予定です。
駐車場 : 病院駐車場をご利用ください。
自家用車でお越しの方は駐車券をお持ち下さい。無料券と引き替えます
参加費 : 岐臨技会員は無料です。
県外技師会・日臨技のみの会員は 300 円、非会員は 2,000 円
参加登録 : 配付資料準備のため 8 月 31 日までに下記アドレスにて参加登録をお願いします。
e-mail : seiri1271@omh.ogaki.gifu.jp

臨床
生理
部門

その他の研究・研修会

平成 27 年度 中部圏支部 生物化学分析検査研修会

日程: 平成 27 年 9 月 5 日 (土) ~ 6 日 (日)
場所: 愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」12 階
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38
内容: テーマ 「検査データをじっくり読み込もう!」
~臨床検査データをより深く読み込み、病態をあぶり出す~

募集人員: 80 名
受講料: 8,000 円 (テキスト代込み)
申込方法: 日臨技 HP からお申し込みください。
申込締切: 平成 27 年 8 月 8 日 (土)

研修会 事務局: 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田保健衛生大学病院 臨床検査部 齊藤 翠

midori86@fujita-hu.ac.jp TEL (0562) 93-2305

生物化学分析

平成 27 年度 中部圏支部 輸血研修会

日時：平成 27 年 9 月 5 日（土） 13：00～17：00

平成 27 年 9 月 6 日（日） 8：30～15：00

会場：富山大学附属病院 〒930-0194 富山県富山市杉谷 2630

<http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/guide/index.html>

募集人数：講義+実技講習 50 名

申込方法：日臨技 HP からお申し込みください。

※受領確認の返信メールのあと、後日研修会のご案内を送付します。

※1 週間以内に受領確認の返信メールが来ない方は、申し訳ございませんが
お問い合わせください。

申込締切：平成 27 年 7 月 31 日（金）17 時 厳守

研修会事務局 受付担当 市立砺波総合病院輸血センター 岩崎 浩

E-mail:hiroshi.iwasaki@med.tonami.toyama.jp TEL:0763-32-3320 FAX:0763-33-1497



第 3 回東海血管検査研究会

日時：平成 27 年 8 月 30 日（日）10：00 ～（受付開始：09：30）

場所：愛知医科大学 1 号館（本学本館）3 F

内容：10：10 ～11：10 基調講演（座長：中村元哉静岡県立総合病院）

演題：「PAD に対する治療戦略と CVT の役割」

講師：愛知医科大学病院生理機能検査センター 神田竜平

11：10 ～12：10 特別講演座長：山本幸治（済生会松阪総合病院）

演題：「血管外科医が求める CVT」

講師：愛知医科大学血管外科教授 石橋宏之先生

13：10 ～14：00 一般演題（座長：栗原五美静岡赤十字病院、濱口真紀伊勢赤十字病院）

演題 1「SMI による頸動脈プラーク評価」

名古屋大学医学部附属病院医療技術部臨床検査部門 金沙玲

演題 2「神経虚血性潰瘍症例に対する理学療法の経験」

偕行会名古屋共立病院リハビリテーション課 近藤恵理子

演題 3「CAVI の関連因子とその留意点について」

岡崎市医師会公衆衛生センター 深津満

演題 4「超音波検査で診断し得た膝窩動脈外膜囊腫の一例」

藤田保健衛生大学病院放射線部 日比亮輔

演題 5「鎖骨下動脈ステント再狭窄例において血管超音波検査と IVUS を対比しえた一例」

三重ハートセンター診療支援部 松林正人

14：10 ～14：50 血管エコーライブデモンストラーション（機器展示会場にて開催）

講師：頸動脈春日井市民病院検査部若林弥生

下肢動脈三重大学病院検査部 松田真珠美

下肢静脈、下肢静脈瘤藤田保健衛生大学病院放射線部 高井洋次

15：00～16：30 特別企画「血管診療における看護師の活躍」

座長：松尾汎先生（松尾クリニック理事長藤田保健衛生大学医学部客員教授）

「CVT ナースの活動報告」常滑市民病院看護部 長利麻衣子

「カテ室における CVT ナースの役割」藤田保健衛生大学病院看護部 高野正代

教育講演 「フットケアと血流評価」名鉄病院看護部加納智美先生（日本フットケア学会副理事長）

参加費：2,000 円 血管診療技師（CVT）資格更新単位（5 単位）が付与されます。

連絡先 東海血管検査研究会事務局（<http://tokai-vascular.kenkyuukai.jp/>）

高井洋次（藤田保健衛生大学病院超音波センター）

TEL：0562-93-2203 E-mail：gacha@fujita-hu.ac.jp



広報宣伝部では会員の方からの寄稿を募集しています！！

発行所（一社）岐阜県臨床検査技師会

〒500-8384 岐阜市藪田南 3 丁目 5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 兼子 徹

編集者

諏訪 浩

森本 勝男

松浦 康博

E-mail

giringi-office@giringi.jp